

2024年3月1日

Dr.Vernette Myint Myint San
President, ABWU
Members of the ABWU Committee

「ABWU 開会式における国旗掲示問題に関する要望書」

キリストの平和と共に日本バプテスト女性連合からご挨拶申し上げます。

私たちは ABWU 会長ならびに役員会の皆様の献身的なお働きをいつも感謝し、主がアジアにおいてキリストの栄光を表すために皆様のお働きを祝福して下さいますよう、お祈りしております。

私は日本バプテスト女性連合 (JBWU) 会長の吉高 路です。ABWU 大会などの開会式での国旗掲示の問題について、JBWU 2022-2023 年度役員会を代表してこの手紙を差し上げました。

この書簡において私たち JBWU の 2022-2023 年度の役員は、ABWU の開会式で国旗を掲げる現在の在り方が再検討されて取りやめられ、代わりにそれぞれの団体旗を使用する自由を認めていただけるよう、要望を申し上げます。すなわち、ここ数年そうであったように、あらゆる ABWU 集会において「日の丸」、つまり旭日旗の掲示が強要されてはなりません。

2022年7月、タイのチェンマイで開催された「Young Women's Leadership Conference」において、会長から「日の丸」旗の掲示が要求され、私たち日本の参加者代表の「日の丸」掲示拒否と抵抗にもかかわらず、いかなる国も国旗を持たずに開会式に参加することは許されないという理由で、国旗掲示という要求に従うことを余儀なくされました

2023年9月、インドネシアのジャカルタで開催された「第14回 ABWU 総会」でも、同じことが起きました。開会式入場では各国とも国旗の掲示が義務付けられており、日本の場合は「日の丸」を掲げざるを得ませんでした。

それゆえ、ここに私たち JBWU は、ABWU 会長と役員会の皆様に対し、今後の ABWU の大会や会議においてこの国旗の掲示を真剣に再検討していただき、そして取りやめていただくよう要請いたします。

私たちと近隣諸国にとって「日の丸」が何を意味するのかを説明させていただきます。それは、大日本帝国軍によって侵略された多くのアジアの近隣諸国にとっては第二次世界大戦の象徴であり、また日本「本土」を救うために 20 万人以上の血が流され犠牲となった沖縄の人々にとっても同様です。その象徴は、日本の天皇崇拝という宗教的な意味合いを明らかに有し、「日の丸」の掲揚は偶像礼拝の一様式に関連づけられます。

またさらに「日の丸」は、日本が掲揚する時、アジアの近隣諸国に対して公式の謝罪や補償をしてこなかった日本の、罪意識と国際感覚が欠如した思考をも示唆するものです。

この意味において「日の丸」とは単なる国旗ではなく、アジアにおける平和的な共生関係を築いていく上で明らかな障害です。このような理由から、私たちは日本の「日の丸」を国旗として受け入れることはできません。

それゆえ、敬愛する ABWU 会長と役員会の皆様、なぜ私たちが ABWU の大会や会議で掲げられる「日の丸」を受け入れることができないのか、アジアの人々が「日の丸」を見て感じるであろう痛みと、この状況を看過できない私たちの苦しみを、ぜひご理解いただきたいのです。

これまで ABWU と 私たち JBWU は大変良好な関係を保ってきました。そして今後もその絆が継続されるものと信じています。そのためにも、皆様がたが私たちがこの書簡の中で説明してきたことを理解し尊重していただけるよう心から願います。すなわち、ABWU の大会や会議において「日の丸」を掲示することを強要する現在の在り方を再検討し、且つやめていただくことです。もし旗の掲示が必要な場合は、国旗の代わりにそれぞれの団体旗を使用できる自由をお認めいただきたいと思います。

私たちは、会長と役員の皆様からの応答を心待ちにしております。私たちの任期は間もなく 3 月末に終了しますが、次期 2024-2025 年度の JBWU 役員会は喜んで皆様との対話を続けてまいります。

最後になりましたが、これまでの皆様のお働きを改めて感謝し、私たちの主イエス・キリストのみ名がアジアのバプテスト女性たちの間で讃美され、栄光が讃えられますよう、心からお祈りいたします。

敬 具

日本バプテスト女性連合
2022 年 2023 年度

会 長 吉高 路
副会長 大竹千賀
副会長 本多依子
書 記 戸井田敦子
会 計 廣島規子